『みやぎグリーン戦略』の基本方向

『みやぎグリーン戦略』

「人と自然が調和した美しく安全な県土と環境づくり」の実現に向けて、今まさに、県民が一体となって「地球温暖化」や「生物多様性の確保」を始めとする環境問題へ対応する必要があります。
「みやぎグリーン戦略」は、「みやぎ環境税」を使って行う、宮城の豊かな環境を守り、次世代に引き継ぐために、本県の良好な環境の保全及び創造に資する環境施策を取りまとめたものです。

「宮城の将来ビジョン」における優先的・重点的な施策

1　経済・社会の持続的発展と環境保全の両立

地球環境保全への貢献

- 地域からの地球温暖化対策の推進 →
- オゾン層保護対策の推進
- 国際的な環境協力等の推進

2　豊かな自然環境、生活環境の保全 .

自然環境の保全とやすらぎや潤いのある身近な環境の保全と創造

- 健全な生態系の保全及び生態系ネットワークの形成 →
- 生物多様性の保全及び自然環境の再生 →
- 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐ基盤づくり →
- やすらぎや潤いのある生活空間の創造 →

『みやぎグリーン戦略』 ==４つの観点==

【観点１】

■ 待ったなしの二酸化炭素削減の取組

～地域からの地球温暖化防止対策の推進～

京都議定書の目標達成に向けた枠組みの中、これまでのエネルギー多消費型の生活様式と社会システムを見直し、地域からの地球温暖化防止に関する取組を積極的に推進し、低炭素社会の実現を図る。

【観点２】

■ 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐ責任

～生物多様性は人類の生存基盤～

人間は、生物多様性の織りなす豊かな自然環境から多くの恵みを享受し、繁栄を築いてきたことに鑑み、特に、生物多様性の重要性を見据え、豊かな自然環境の保全・再生などにより、後世に渡り自然と共生する社会の実現を図る。

【観点３】

■ 地球環境保全への貢献を通した地域経済の活性化

～環境配慮と経済発展の両立は県民の願い～

豊かな環境は地域経済を支える基盤であることから、経済の発展と両立する環境負荷の少ない持続可能な地域社会を構築するため、環境に配慮した事業者等の取組を支援し、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。

【観点４】

■ 人と自然の交流、心身の健康と安らぎ、癒しの提供

～今日的な社会問題解決のため、豊かな自然環境を活かす～

健全な自然環境が有する、多面的な公益的機能を十分に発揮させるため、多様な主体が行う自然環境を育む活動の機会を提供するとともに、健康増進・青少年育成・社会貢献等に資する県民共有の財産として、その機能を等しく享受できる環境づくりを図る。

目指す姿

1　低炭素社会構築に向けた新しいライフスタイルを県民挙げて創造していく宮城県

2　森林や生物多様性など自然環境を積極的に守り育てる宮城県